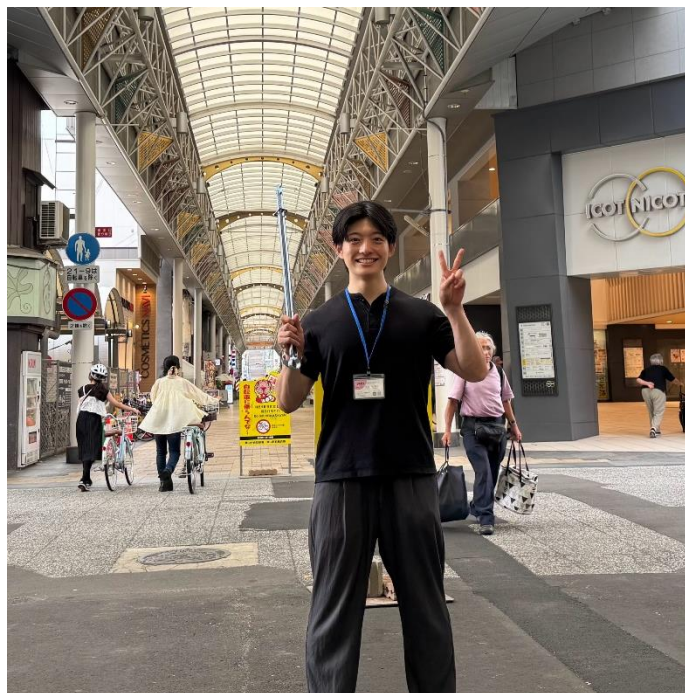




基本情報

【転出元】

広島県広島市

【前職】

個人事業主

【活動時期】

R8.9.1～

協力隊に応募したきっかけ

広島でジムを経営し、人の身体づくりや目標達成を支援する中で、心身ともに「ごきげん」であることの大切さを感じてきました。私が考える「ごきげん」とは、単に楽しい状態ではなく、自分のことを理解し、自分がどうなりたいのかを考え、納得した一歩を踏み出せる状態です。

実際に、目標を立てても行動に移せない人や、小さな一歩をきっかけに大きく変化していく人と関わる中で、本人の思いを行動につなげる環境や周囲との関係が重要だと実感しました。

岡山駅前商店街には、多様な人・店・仕事との出会いがあり、道や空間を活用した新しい取組を広げようとする動きがあります。この場所で地域の人たちと関わりながら、一人ひとりが自分らしい「やってみたい」に気づき、それを実際の行動に移せる環境をつくりたいと考え、協力隊に応募しました。

今後、取り組みたいこと

まずは商店主や事業者の皆さんの話を聞き、それぞれが大切にしていること、商店街への思い、困っていること、今後やってみたいことを知るところから始めます。

さまざまなことに挑戦し、うまくいったことだけでなく、失敗や試行錯誤の過程も発信していきます。その姿を見た人に「それなら自分にもできるかもしれない」と感じてもらい、新しい一歩を踏み出す人を増やしたいと考えています。

そうした人たちの思いや行動が商店街の中でつながり、次の人の「やってみたい」を後押しする。商店街を訪れると気分が上がり、何かを始めたくなるような、明るく前向きな空間をつくるのが目標です。

「自分がわかる。なりたいが見える。やってみたいが動き出す。」を軸に、失敗を恐れず、地域の皆さんと試行錯誤を重ねていきます。